

# 緑のしるべ

～冬号～

令和6年2月

茨城県県南農林事務所  
稲敷地域農業改良普及センター

稲敷市江戸崎甲541

TEL 029(892)2934

FAX 029(892)6684

Mail inanofu@pref.ibaraki.lg.jp

HP



## 稲敷地域青年農業士会雇用研修会が開催されました



中島社会保険労務士による講演



鎌倉インダストリーズ株式会社原代表による講演

令和5年7月25日（火）に、稲敷地域青年農業士会雇用管理研修会が開催されました。当日は青年農業士6名、農業経営士1名、市町村農政担当者4名が出席しました。

研修会は2部構成で行われ、第1部では中島社会保険労務士に「農業経営における『労務管理の基本』と『人材確保』について」のテーマで講演いただきました。農業は、労働基準法の適用除外となつてはいるが、深夜割増は必要であること、パートでも有給休暇は必要であること等を学び、人を雇う際の知見を広げることができました。

また、第2部では1日農業バイトアプリ「デイワーク」を運営する鎌倉インダストリーズ株式会社の原代表に、当社アプリの活用についてオンラインで説明いただきました。原代表からは茨城県でも是非活用していただきたい旨の説明があり、参加者は早速研修中にアプリをインストールして原代表に質問するなど、高い関心を示している様子が伺えました。

普及センターでは、今後も青年農業士等の活動を支援し、経営者の育成を図っていきます。



稲敷地域青年農業士会 山口会長

## 令和5年産の水稲成熟期及び品質調査結果

「あきたこまち」・「コシヒカリ」共に前年と比べ増収傾向でした（表）。5月中旬～6月初めまでの低温寡照の影響で、分けつが抑制されて穂数が少なかったものの、6月中旬以降は高温多照で推移し、一穂粒数が確保されたため収量が増えました。

品質については「あきたこまち」・「コシヒカリ」共に前年と比べ整粒歩合は低い傾向が見られました（表）。これは登熟期の高温多照により白未熟粒（図1）や黒点米（図2）が増加したためです。近年は夏季の異常高温が問題となっているため、高温耐性品種への代替や肥培管理での対応が必要です。

表. 定点圃場の収量・整粒歩合(令和4,5年産)

品種	調査地点	年度	肥料名 施用量 [N施用量] (kg/10a)	坪刈 収量 (kg/10a)	整粒 歩合 (%)
あきた こまち	稲敷市 下須田	R5	一発らくしょう君 [7.2]	647	57
		R4		607	66
コシ ヒカリ	稲敷市 浮島	R5	軽量コシヒカリ一発 700 20 [5.4]	536	33
		R4		506	45



図1: R5年産「コシヒカリ」  
玄米外観



図2: 黒点米

## イネの株元をよく観察！ ～ 紋枯病の発生に注意～

近年、夏季の高温や多肥栽培により、イネ紋枯病の発生が増えています。多発すると、登熟や収量に影響を及ぼし、倒伏しやすくなります。

伝染源は、前年の被害株に形成された菌核です（図1）。菌核は代かき時に水面に浮きあがり、イネの株元に付着します。その後、気温が上昇し、株間の湿度が高くなると、菌核から発芽した菌糸がイネ内に侵入し、楕円形の病斑をつくります（図2）。

イネの株元をよく観察して早期に発見するとともに、以下の防除対策を実施して、圃場内でのまん延を防ぎましょう。

### 【防除対策】

- ①代かき時の浮遊物に菌核が混入しているので、畦畔沿いにたまったごみを圃場外に持ち出す。
- ②発病状況に応じて薬剤による本田防除を実施する。また、常発地では育苗箱施用剤を使用する。



図1: 病斑上に作られた菌核



図2: 株元の病斑

田植え前に再確認！

## 水田除草のポイント

- ① 丁寧に代かき！…除草剤の処理層が均一に形成されるよう、田面を平らにする。
- ② 除草剤散布後は止水し、7日間落水しない！…有効成分を圃場外に出さない。  
※水が減って田面が露出しような場合は、処理層を壊さないよう静かに入水する。
- ③ 分けつ期は浅水管理！…稲の分けつ促進とともに、処理層を長持ちさせる。  
※藻類（アオミドロなど）が多発した場合、軽く中干しを行い藻を干して枯らす。
- ④ 中干し期頃に発生する雑草も、早めに防除！…この時期発生する雑草はヒレタゴボウやクサネムなど大型になるものも多いので、発生初期に中後期剤を散布する。
- ⑤ 残った雑草は、種子をつける前に抜き取る！…翌年以降の発生量増を防ぐ。



## AGRI BATON PROJECT 農林水産大臣賞及び新しいばらきづくり表彰を受賞

AGRI BATON PROJECT (アグリバトンプロジェクト) は、「農業って楽しい！」を子供たちへ伝える絵本を製作出版し、絵本の読み聞かせや食育活動を展開するオンラインコミュニティです。絵本という誰にでも取り組みやすいツールを使い、食育活動を取り組みやすいものとして全国へ広げています。これらの活動が評価され、今年「第7回食育活動表彰」において農林水産大臣賞を、また「新しいばらきづくり表彰」も受賞しました。

今後も食育絵本第2弾の出版予定や、県内小学校等において農家による食育出前授業を実施するなど、「農業を子どもたちのあこがれの職業にすること」だけでなく「農村女性の社会的地位向上」も目指して、意欲的に活動しており、さらなる発展が期待されます。



## 県南地域農業学園第6回「土壌の物理性・排水性改善対策講座」開催



普及センターでは、農業を始めて間もない方等を対象に、農業の知識・技術習得を支援するための講座「農業学園」を通年開催しています。

第6回は10月24日にスガノ農機株式会社にて土壌の物理性や排水性の改善に特化した講習を行いました。座学後には工場や土の歴史館を見学し、幅広い観点から知識を習得しました。

受講生からは「土壌改善について実例を基にした話が聞けて良かった」、「耕うんや緑肥使用の大切さが理解できた」等の感想があり、とても有意義な時間となりました。

## 阿見町で「県南地域カンショ品質向上研修会」開催

8月9日に阿見町を会場として、県南農林事務所主催の「県南地域カンショ品質向上研修会」が開催されました。県南地域では近年カンショ生産が増加していますが、新規生産者が多いこともあり品質のばらつきが大きく、課題となっています。阿見町は、県南地域でも特にカンショの面積拡大が進んでおり、今回研修会の開催地となりました。

当日は、カンショ取扱量が全国トップレベルである「カルビーかいつかスイートポテト(株)」より優良カンショ生産のための講演をいただき、品質向上に対する意識が醸成されました。その他、阿見町のカンショ生産支援や新規生産者の取組内容が説明され、参加者による意見交換が行われました。

また、阿見町の横張清彦 元農業経営士のカンショ圃場を視察し、生育の様子や管理方法を確認しました。

普及センターでは引き続き、カンショ品質向上生産を支援していきます。



## 稲敷地域女性農業士会が「いなしき食農交流ミニフォーラム」を開催



10月27日、稲敷地域女性農業士会が旬の地域農産物「れんこん」をテーマに食農交流活動を行いました。牛久市のつくば栄養医療調理製菓専門学校専門調理師学科の学生17名を対象に、「れんこん」の栄養価や部位ごとの特性を活かした調理法を紹介し、完成した「れんこんサラダ」「れんこん汁」「れんこんハンバーグ」を食べながら交流しました。試食後には、稲敷地域女性農業士会が作成した「れんこん紙芝居」と収穫・調製作業の動画も披露しました。

学生からは「調理の仕方で食感がそれぞれ違う」「れんこん料理の幅広さを知ることができた」などの感想が聞かれ、食材としてのれんこんの魅力をPRする良い機会となりました。

今回の交流は、女性農業士と学生にとって実のあるものになり、次回以降も交流を望む声が双方から届いています。

## 農業三士新規認定者紹介

### <女性農業士>

農業経営と農家生活の向上に意欲的に取り組み、担い手育成や地域農業振興で活躍する女性農業者を知事が認定するものです。今年度は1名の方が新たに認定されました。

#### 金谷 幸愛さん（稲敷市 露地野菜）

JA稲敷江戸崎南瓜部会に所属し、パイプハウス、トンネル、露地栽培の作型を組み合わせ、高品質な「江戸崎かぼちゃ」を生産しています。また女性部にも所属して部会の販売促進活動にも積極的に取り組み、地域の若手女性農業者のリーダーとして活躍されています。



金谷 幸愛さん

### <青年農業士>

将来地域農業の担い手となる農業青年を知事が認定するものです。今年度は2名の方が新たに認定されました。

#### 荒井 和浩さん（稲敷市 普通作）

「人とのつながりを大切に、地域を守る」を経営理念として、作業受託、農地集約等を積極的に取り組み、更なる経営発展に向けて日々奮闘されています。



荒井 和浩さん

#### 野澤 拓哉さん（河内町 普通作）

自社の米粉を利用した「米粉たい焼き」を販売し、稲敷市のシフォンケーキ専門店と協力してスイーツを開発しており、コメの新しい価値の創出に取り組んでいます。



野澤 拓哉さん

### 農業三士退任者の紹介

青年農業士 橋本誠一さん（稲敷市）

池延浩幸さん（美浦村） *ありがとうございました。*